



平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月2日

上場取引所 東

上場会社名 東亜合成株式会社

コード番号 4045 URL <http://www.toagosei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 橋本 太

問合せ先責任者 (役職名) IR広報室長

(氏名) 芹田 泰三

TEL 03-3597-7215

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日

平成25年9月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	73,643	1.1	7,413	8.0	7,968	13.1	5,115	4.4
24年12月期第2四半期	72,852	△7.2	6,867	△33.6	7,048	△32.9	4,899	△16.0

(注)包括利益 25年12月期第2四半期 8,016百万円 (60.9%) 24年12月期第2四半期 4,983百万円 (△15.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	19.41	—
24年12月期第2四半期	18.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
25年12月期第2四半期	188,831		142,746		73.4
24年12月期	181,451		136,240		72.8

(参考)自己資本 25年12月期第2四半期 138,522百万円 24年12月期 132,074百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	5.00	—	5.00	10.00
25年12月期	—	5.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	150,000	1.2	15,000	2.9	15,600	2.3	10,000	3.1	37.93

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 鶴見曹達株式会社
詳細は、(添付資料)4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年12月期2Q	263,992,598 株	24年12月期	263,992,598 株
25年12月期2Q	418,696 株	24年12月期	368,033 株
25年12月期2Q	263,601,983 株	24年12月期2Q	263,663,534 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想には、本資料の発表日現在入手可能な情報に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後さまざまな変動要因により、上記数値と異なる可能性があります。上記業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(ア) 当第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間（平成25年1月1日から平成25年6月30日まで）におけるわが国経済は、政府、日銀主導による経済政策を受けた円安、株高の進行により、消費マインドに改善の兆しが見られるものの、外需は、長引く欧州経済の低迷に加え、新興国における景気減速も鮮明になるなど、先行き不透明な状況のうちに推移しました。

当社グループを取り巻く事業環境につきましては、一部の製品で需要持ち直しの兆しが見られるものの、力強い回復までには至らず、円安の進行を受けて原燃料価格が上昇するなど、予断を許さぬ状況が続いています。

このような中、当社グループは、グループをあげたコスト削減の徹底に取り組むとともに、各製品の事業環境に応じたきめ細かい販売政策を実施し、収益の確保に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は736億4千3百万円（前年同期比1.1%増収）、営業利益は74億1千3百万円（前年同期比8.0%増益）、経常利益は79億6千8百万円（前年同期比13.1%増益）、四半期純利益は51億1千5百万円（前年同期比4.4%増益）となりました。

(イ) セグメント別の業績

①基礎化学品事業

苛性ソーダおよび無機塩化物は、全般的な需要の低迷を受けて販売数量が減少し、低調に推移しました。無機高純度品は、半導体向け需要が輸出を中心に回復し、堅調に推移しました。硫酸は、期前半は全般的に需要が低迷したものの、期後半に需要が一部回復し、前年同期並みで推移しました。工業用ガスは、全般的に需要の回復が弱く、低調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は226億7千9百万円（前年同期比3.8%減収）となりました。

営業利益は、苛性ソーダおよび無機塩化物の販売数量が減少したことにより、20億4千7百万円（前年同期比9.7%減益）となりました。

②アクリル製品事業

アクリル酸およびアクリル酸エステルは、世界的な需給バランスの逼迫により販売数量が増加し、堅調に推移しました。アクリル系ポリマーは、全般的に底堅い需要に支えられ、堅調に推移しました。高分子凝集剤は、販売価格の下落傾向が続くとともに需要も低迷し、低調に推移しました。光硬化型樹脂「アロニックス」は、全般的な需要の低迷を受けて販売数量が減少し、低調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は284億3千6百万円（前年同期比6.8%増収）となりました。

営業利益は、アクリル酸エステル、アクリル系ポリマーの販売数量が増加したことに加え、製品価格の是正に努めたことにより収益が改善し、31億9千9百万円（前年同期比22.4%増益）となりました。

③機能製品事業

接着剤は、一般用瞬間接着剤の需要が底堅く推移するとともに、工業用も携帯端末向けを中心とした機能性接着剤の需要が伸び、順調に推移しました。建築・土木製品は、建築補修材、地盤改良剤とともに堅調に推移しました。無機機能材料は、銀系無機抗菌剤ノバロンの販売数量が増加し、順調に推移しました。エレクトロニクス材料は、全般的に販売数量が低迷し、低調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は81億4百万円（前年同期比1.6%増収）となりました。

営業利益は、機能性接着剤、銀系無機抗菌剤ノバロン等の販売数量が増加し、15億4千8百万円（前年同期比8.3%増益）となりました。

④樹脂加工製品事業

管工機材製品は、需要が全般的に回復し、堅調に推移しました。ライフサポート製品は、介護用品の競争激化と需要低迷により販売数量が減少し、低調に推移しました。エラストマーコンパウンドは、食品向けを中心に販売数量が増加し、堅調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は127億5千4百万円（前年同期比2.6%減収）となりました。

営業利益は、不採算品の見直しやコスト削減等の合理化に努めたことにより、5億1千2百万円（前年同期比1.7%増益）となりました。

⑤その他の事業

新規製品の研究開発事業、設備等の建設および修繕事業、輸送事業、商社事業などにより構成される当セグメントは、売上高は16億6千7百万円（前年同期比5.3%増収）、営業利益は4千1百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債および純資産の状況

総資産合計は、「現金及び預金」「有価証券」の手元流動性の増加および株式市況の回復により「投資有価証券」が増加しましたため、前連結会計年度末に比べ73億7千9百万円、4.1%増加し、1,888億3千1百万円となりました。

負債合計は、一年内返済予定の長期借入金を返済したことにより「短期借入金」が減少しましたものの、新規借入を実施したことにより「長期借入金」が増加しましたため、前連結会計年度末に比べ8億7千3百万円、1.9%増加し、460億8千4百万円となりました。

純資産合計は、四半期純利益の計上により「利益剰余金」が増加しましたため、前連結会計年度末に比べ65億6百万円、4.8%増加し、1,427億4千6百万円となり、自己資本比率は73.4%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払が増加しましたため、前年同期に比べ収入が46億2千2百万円減少し、105億3千6百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出が減少しましたため、前年同期に比べ支出が31億7千4百万円減少し、35億1千1百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の借換えを行いましたため、前年同期に比べ支出が13億9千7百万円減少し、6億1百万円の支出となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物の残高は366億4千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ71億1千7百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年2月7日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社は、連結子会社でありました鶴見曹達株式会社および日本純薬株式会社を平成25年1月1日付で吸収合併いたしました。なお、鶴見曹達株式会社は前連結会計年度において特定子会社に該当していません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,096	18,986
受取手形及び売掛金	43,434	42,621
有価証券	14,000	19,000
たな卸資産	15,989	16,188
未収還付法人税等	330	369
その他	2,491	2,203
貸倒引当金	△57	△55
流動資産合計	93,284	99,312
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	20,096	20,096
機械装置及び運搬具(純額)	18,471	17,557
土地	17,299	17,506
その他(純額)	10,198	11,150
有形固定資産合計	66,065	66,310
無形固定資産		
のれん	38	33
その他	863	785
無形固定資産合計	902	819
投資その他の資産		
投資有価証券	14,316	16,572
その他	6,952	5,886
貸倒引当金	△70	△69
投資その他の資産合計	21,198	22,389
固定資産合計	88,166	89,519
資産合計	181,451	188,831

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,878	15,265
短期借入金	6,234	3,213
未払法人税等	4,064	2,548
引当金	23	25
その他	8,588	9,860
流動負債合計	33,789	30,913
固定負債		
長期借入金	5,986	9,981
退職給付引当金	454	329
役員退職慰労引当金	29	20
その他	4,950	4,840
固定負債合計	11,421	15,171
負債合計	45,211	46,084
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,886	20,886
資本剰余金	16,796	16,797
利益剰余金	93,821	97,618
自己株式	△120	△141
株主資本合計	131,384	135,160
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,412	3,010
為替換算調整勘定	△722	351
その他の包括利益累計額合計	689	3,361
少数株主持分	4,166	4,224
純資産合計	136,240	142,746
負債純資産合計	181,451	188,831

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
売上高	72,852	73,643
売上原価	53,254	53,972
売上総利益	19,597	19,670
販売費及び一般管理費	12,730	12,256
営業利益	6,867	7,413
営業外収益		
受取利息	24	20
受取配当金	235	256
持分法による投資利益	104	130
その他	184	398
営業外収益合計	548	805
営業外費用		
支払利息	76	67
環境整備費	106	42
遊休設備費	60	65
その他	125	75
営業外費用合計	368	251
経常利益	7,048	7,968
特別利益		
補助金収入	287	222
受取補償金	275	—
抱合せ株式消滅差益	87	—
特別利益合計	649	222
特別損失		
固定資産処分損	54	82
投資有価証券評価損	2	—
特別損失合計	56	82
税金等調整前四半期純利益	7,641	8,109
法人税等	2,529	2,860
少数株主損益調整前四半期純利益	5,111	5,249
少数株主利益	212	133
四半期純利益	4,899	5,115

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,111	5,249
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△305	1,599
為替換算調整勘定	176	1,168
その他の包括利益合計	△128	2,767
四半期包括利益	4,983	8,016
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,755	7,786
少数株主に係る四半期包括利益	227	229

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,641	8,109
減価償却費	4,217	3,730
のれん償却額	4	4
引当金の増減額(△は減少)	△159	△195
受取利息及び受取配当金	△260	△276
支払利息	76	67
持分法による投資損益(△は益)	△104	△130
補助金収入	△287	△222
受取補償金	△275	—
抱合せ株式消滅差損益(△は益)	△87	—
固定資産処分損益(△は益)	54	82
投資有価証券評価損益(△は益)	2	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,888	1,075
たな卸資産の増減額(△は増加)	227	64
仕入債務の増減額(△は減少)	△604	221
その他	1,710	1,381
小計	14,044	13,910
利息及び配当金の受取額	366	420
利息の支払額	△90	△83
補助金の受取額	234	222
受取補償金の受取額	275	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	328	△3,934
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,159	10,536
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△5	△19
投資有価証券の償還による収入	—	115
有形固定資産の取得による支出	△6,393	△3,617
その他	△287	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,686	△3,511
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△18
長期借入れによる収入	—	4,385
長期借入金の返済による支出	△395	△3,400
自己株式の取得による支出	△11	△21
配当金の支払額	△1,316	△1,316
少数株主への配当金の支払額	△225	△171
その他	△49	△57
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,998	△601
現金及び現金同等物に係る換算差額	114	693
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,588	7,117
現金及び現金同等物の期首残高	23,992	29,529
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	3	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	30,584	36,647

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	基礎化学 品事業	アクリル 製品事業	機能製品 事業	樹脂加工 製品事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	23,565	26,627	7,977	13,098	71,268	1,583	72,852	—	72,852
セグメント間の内部 売上高または振替高	38	24	226	13	301	3,882	4,183	△4,183	—
計	23,603	26,651	8,203	13,111	71,570	5,465	77,036	△4,183	72,852
セグメント利益または セグメント損失(△)	2,266	2,612	1,429	503	6,812	△7	6,805	62	6,867

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規製品の研究開発事業、設備等の建設および修繕事業、輸送事業、商社事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	基礎化学 品事業	アクリル 製品事業	機能製品 事業	樹脂加工 製品事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	22,679	28,436	8,104	12,754	71,975	1,667	73,643	—	73,643
セグメント間の内部 売上高または振替高	17	57	243	3	322	3,769	4,091	△ 4,091	—
計	22,697	28,494	8,347	12,758	72,298	5,436	77,735	△ 4,091	73,643
セグメント利益	2,047	3,199	1,548	512	7,306	41	7,347	65	7,413

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規製品の研究開発事業、設備等の建設および修繕事業、輸送事業、商社事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。